IDEJETRO 研究双書 No.551

# 東アジアの挑戦

経済統合・構造改革・制度構築

平塚大祐編

アジア経済研究所

#### 研究双書 No. 551

#### 平塚大祐編『東アジアの挑戦―経済統合・構造改革・制度構築―』

#### Higashi Ajia no Chōsen: Keizai Tōgō, Kōzō Kaikaku, Seido Kōchiku

(Challenges for East Asia: Economic Integration, Structural Reform, and Institution-Building)

#### Edited by

#### Daisuke HIRATSUKA

#### Contents

Chapter 1	Challenges for East Asia: Economic Integration, Structural I	Reform, and	
	Institution-Building (Daisuke HIRATSUK	A and Hikari ISHIDO)	
	PART I ECONOMIC INTEGRATION		
Chapter 2	The East Asian Regional Space (D	aisuke HIRATSUKA)	
Chapter 3	The New Economic Geography of East Asian Integration		
•	(No	buaki HAMAGUCHI)	
Chapter 4	The Mechanism of Fragmentation in East Asia and Its Policy	Implication	
•		(Fukunari KIMURA)	
Chapter 5	Cross Border Production Linkages in East Asia	(Ikuo KUROIWA)	
Chapter 6	Development of Global Value Chains in East Asia: The Case of the Bicyc		
	Industry	(Yōichi KOIKE)	
Chapter 7	East Asia's "Innovation": Dynamic Gains from Economic In	tegration	
•	•	(Hikari ISHIDO)	
Chapter 8	Development and Barriers to the Services Trade in East Asi	a (Akira KAJITA)	
_	PART II STRUCTURAL REFORM		
Chapter 9	FTAs and the Structural Problems of Japanese Agriculture		
	(No	bukazu TANIGUCHI)	
Chapter 10	Government and Producer Responses to a Surge in Agricult	ural Imports: The	
	Case of Welsh Onions (	Azusa HARASHIMA)	
Chapter 11	The Philippine Petrochemical Industry: Behind the Border I	ssues	
		(Yurika SUZUKI)	
Chapter 12	The Automobile Industry in Malaysia: With Special Reference		
	Producers	(Makoto ANAZAWA)	
	PART Ⅲ INSTITUTION-BUILDING		
Chapter 13	Institutional Features of East Asian Cooperation: The Case		
		(Sanae SUZUKI)	
Chapter 14	Features of RTAs in East Asia: Comparative Study of Their		
		Maki-AOKI-OKABE)	
Chapter 15	Progress and Challenges for East Asian Financial Cooperation		
o	The state of the s	hie KASHIWABARA)	
Chapter 16	Energy Cooperation in East Asia: Potential and Prospects	(Nobuhiro HORII)	

(Kenkyū Sōsho (IDE Research Series) No. 551)

Published by the Institute of Developing Economies, JETRO, 2006 3-2-2, Wakaba, Mihama-ku, Chiba-shi, Chiba 261-8545, Japan

ひらつか 平塚 大祐 (アジア経済研究所新領域研究センター地域統合グループ長) いしど ひかり 光 (千葉大学法経学部助教授) 石戸 はまぐち のぶあき 浜口 伸明 (神戸大学経済経営研究所助教授) き むら ふくなり 福成 (慶應義塾大学経済学部教授) くろいわ 郁雄 (アジア経済研究所開発研究センターミクロ経済分析グループ長) こいけ よういち 洋一 (拓殖大学国際開発学部教授) かじた あきら (日本貿易振興機構経済分析部国際経済研究課課長代理) たにぐち のぶかず 谷口 信和 (東京大学大学院農学生命科学研究科教授) はらしま あずさ 原島 | 梓(アジア経済研究所地域研究センターアフリカ研究グループ) 鈴木有理佳(アジア経済研究所地域研究センター東南アジア I 研究グループ) あなざわ まこと (小樽商科大学商学部教授) さなえ 早苗(アジア経済研究所新領域研究センター地域統合グループ) あおき おかべ 青木(岡部)まき (アジア経済研究所新領域研究センター地域統合グループ) かしわばら 千英 (アジア経済研究所開発研究センター開発戦略研究グループ) 柏原 ほりい 伸浩(アジア経済研究所新領域研究センター環境・資源研究グループ) 堀井

一執筆順一

#### 東アジアの挑戦

―経済統合・構造改革・制度構築―

研究双書No.551

2006年 2 月28日発行©

定価「本体5000円 + 税]

編 者 平塚大祐

発行所 アジア経済研究所

独立行政法人日本貿易振興機構

千葉県千葉市美浜区若葉3丁目2番2 〒261-8545

研究支援部 電話 043-299-9735

FAX 043-299-9736

E-mail syuppan@ide.go.jp http://www.ide.go.jp

印刷所 日本ハイコム株式会社

落丁・乱丁本はお取り替えいたします

無断転載を禁ず

## 目 次

## まえがき

第1章	東アジアの挑戦
	——経済統合·構造改革·制度構築—— …平塚大祐·石戸 光…3
第1節	経済統合・構造改革・制度構築3
第2節	経済統合
第3節	構造改革20
第4節	制度構築28
第5節	東アジアの多様性35
おわり	۱ <u>۲</u>
	第 I 部 経済統合
第2章	東アジアの経済活動空間平塚大祐…45
はじめ	VC45
第1節	東アジアの経済活動空間48
第2節	ハードディスク・ドライブの垂直的生産ネットワーク53
第3節	東アジアの産業内貿易と輸出拠点化57
むすび	62
第3章	東アジアの地域経済統合の空間経済学分析浜口伸明…67
第1節	地域統合経済への空間経済学の分析視角67
第2節	東アジアの地域経済統合71

第3節	東アジア経済統合の将来8	4
第4章	東アジアにおけるフラグメンテーションのメカニズムと	
	その政策的含意木村福成…8	7
はじめい	z8	7
第1節	「統合された経済」と東アジア8	9
第2節	二次元のフラグメンテーションと集積9	1
第3節	なぜ東アジアだったのか?9	7
第4節	東アジア経済連携への示唆10	1
おわりし	z10	5
第5章	東アジアの国際産業連関と生産ネットワーク黒岩郁雄…10	9
	z ······10	
第1節	東アジア域内の中間財貿易の拡大11	0
第2節	東アジアの空間リンケージ11	7
おわりし	z ······12	8
テクニ	カル・ノート12	9
第6章	東アジアにおけるグローバル・バリュー・チェーンの発展	
		7
	Z13	
	GVC と産業発展 ·······13	
	自転車工業の GVC ···································	
	GVC の発展 ·······15	
	16	

第7章	東アジアの「イノベーション」
	経済統合の動態的利益 ·····
第1節	グローバリゼーション下の小国群としての東アジア諸国165
第2節	工業化において「イノベーション」の果たす役割167
第3節	東アジアのイノベーションに関連する統計的概観170
第4節	貿易データに見る東アジアの「イノベーション」179
第5節	結論
	東アジアのサービス貿易の発展と障壁梶田 朗…193
はじめ	193
第1節	東アジアのサービス貿易の発展195
第2節	東アジアのサービス貿易の障壁202
第3節	東アジアのサービス貿易障壁低減に向けて208
	第Ⅱ部 構造改革
第9章	FTA と日本農業の構造問題・・・・・・・・・・谷口信和・・・221
第1節	問題の所在221
第2節	国境措置と背後にある農業問題
	構造問題と地域問題の諸相222
第3節	日本と東アジア――農産物貿易をめぐる新段階――236
第4節	FTA の進展と農産物貿易問題の「解決」
	農業は FTA の障害物ではない241
第5節	日本農業の構造問題と食料自給率

第10章	農産物の対日輸入増大に関する政府・産地	の取組み	
	ネギの事例	原島	梓…251
はじめ	K		251
第1節	日本におけるネギの生産と輸入急増		253
第2節	政府の取組み		258
第3節	産地の取組み		262
結論と	政策的含意		267
第11章	フィリピン石油化学産業の構造問題	…鈴木有理信	<b>₺</b> ·····271
	12 ·····		
第1節	自由化への取組み		272
第2節	石油化学産業の概況		275
第3節	石油化学産業の構造問題		279
第4節	石油化学産業をめぐる国境措置		282
おわり	NZ		289
第12章	マレーシアの自動車産業		
	国民車メーカーを中心として········	穴沢	眞…295
はじめ	VC		295
第1節	プロトン社の誕生と IMP		296
第2節	IMP2(1995-2005)のもとでの自動車産業 …		303
第3節	AFTA と FTA ······		309
第4節	自動車産業の競争力分析		314
第5節	まとめと展望		318

### 第Ⅲ部 地域協力制度の構築

第13章	東アジア地域協力の制度的特徴
	ASEAN +3 (日中韓) を事例として鈴木早苗…329
第1節	問題意識
第2節	分析枠組み330
第3節	会議の準備・運営・開催に関する制度335
第4節	合意の実施に関する制度343
第5節	結論351
第14章	東アジアにおける地域貿易協定の特徴
	――内容の比較と各国の RTA 政策からの検討――
はじめ	12 ·····365
第1節	東アジアにおける RTA の特徴366
第2節	中国・ASEAN 包括的経済協力協定(CAFTA) ······378
第3節	日本と ASEAN 諸国の RTA —— JTEPA を事例に——383
むすび	394
第15章	東アジア地域における金融協力フレームワークの進展と課題
	— ASEAN+3における取組みを中心として— …柏原千英…403
はじめ	NZ403
第1節	地域金融協力を促進する意義405
第2節	アジアにおける地域金融協力フレームワークとその進展/停滞
	409
第3節	ABMI の進展にともなう変化417
<b>第</b> 4節	将来におけろ課題

おわりに――金融協力フレームワーク自体の深化:
政治主導から組織化へ――426
第16章 東アジアのエネルギー協力
その潜在的効果と展望い
はじめに
第1節 拡大東アジアのエネルギー構造の現状とエネルギー協力の可能性
437
第 2 節 拡大東アジアの域内エネルギー協力の現状445
第3節 協力に立ちはだかる障壁と対策452
おわりに
索引

## 「研究双書」シリーズ

(提示した価格は税込み価格です)

				(ルカレた画俗は7元以外画俗(9)
538	ファミリービジネス ァジアとラテンアメリカ	の経営と	革新	度重なる経済危機と激しさを増す国際競争の もと、生き残りを模索するアジアとラテンア
	インテとファンテメリカ 星野妙子編	2004年 423p	。 4725円	メリカの巨大ファミリービジネスの最新の姿 を明らかにする。
539	カンボジア新時代 天川直子編	2004年 445p	o. 5040円	1993年の新生カンボジアの誕生から既に10年。国際関係と国内政治経済体制の劇的な変化の下で、カンボジア人々の暮らしはいかに変わりつつあるのか。詳細な現地報告。
			. 001011	WTO加盟をめざして国際経済への参入を深
540	国際経済参入期のペ		5050TI	化させつつあるベトナム。市場経済化, 行政 改革, 国際開発協力の現段階と立ち向かうべ
	石田暁恵・五島文雄編	2004年 472p		き課題を論じた地域研究報告。 アジアの環境政策と社会変動について,直接
541	アジアにおける環境政		<b></b>	規制と経済的手段,情報公開と参加,環境紛
	産業化・民主化・グローバ 寺尾忠能・大塚健司編	ル1ピ 2005年 388g	。 4410円	争,技術開発,国際協力,国際協調等具体的 な政策過程の事例研究を踏まえて検討する。
542	エジプトの開発戦略	ドFTA政	策	60年代にアラブ社会主義の盟主であったエジ プトが、今、EUやアメリカとのFTAに邁進。
0.2	山田俊一編	2005年 302p	。 3360円	その背景を開発・貿易政策、内政、アラブ地域協力、EU・地中海連合協定から分析。
543	アフリカ経済実証分	`析		日本におけるアフリカ経済研究のフロンティア。経済学者とアフリカ学者の共同プロジェ
	平野克己編	2005年 360p	。 4200円	クトの成果で、地域研究の手法を踏まえつつ 計量実証分析に挑んだ。
544	ポスト・エドサ期の	フィリヒ	<sub>ニ</sub> ン	アジアにおける民主化のさきがけであったフィリピン。その民主化後の約20年はどう評価されるだろうか。民主主義の定着と自由主義
	川中 豪編	2005年 246p	。 2940円	的経済改革の相互関係を軸に読み解く。
545	ラオス 一党支配体制	下の市場	経済化	「一党支配体制下の市場経済化」に挑戦する ラオス。「2020年までの最貧国からの脱出」 という目標は達成しうるのか。ラオスの課題
	天川直子・山田紀彦編	2005年 264p	。 3150円	とは何か。
	ミャンマー移行経済	の変容		市場経済への移行から17年、統制が色濃く残るなかでミャンマー経済はどう変わったのか。
546	市場と統制のはざまで 藤田幸一編	2005年 341p	。 4095円	経済構造の実態と変容をマクロ・ミクロの両 側面からえぐり出す,本格的実証研究。
	現代中国の政治変容	?		社会の多元化、体制の安定化という構造的変化が起きている中国。その政治過程における
547	構造的変化とアクターの多 佐々木智弘編	様化 2005年 270 <sub>円</sub>	。 3150円	アクターの多様化を,政治,経済,外交の事例研究を通じ明らかにした。
548	新興工業国の社会福	祉		新興工業諸国等における社会福祉制度はどの ような特色を有し、いかなる背景で形成され
	最低生活保障と家族福祉 宇佐見耕一編	2005年 421p	。 4830円	ていったのか。特に対象を最低生活保障と家族の社会福祉に絞り分析を加える。
549	中国・ASEAN 経済	関係の新	展開	FTA の空白区とされてきた東アジアだが、 中国と ASEAN 間の貿易・投資関係の深化を
	相互投資と FTA の時代へ 大西康雄編	2006年 360年	。 4200円	軸に FTA 締結に向かっている。その現状を 域内各国の視点から紹介、分析する。
550	人間の安全保障の射	程		人間の安全保障の考え方にはいかなる可能性 と限界があるのか。アフリカの事例を念頭に
	アフリカにおける課題 望月克哉編	2006年 287p	。 3465円	隣接概念との接点や乖離点、当面する諸課題 について考察する。